



静岡市立PTA連絡協議会
12ブロック母親委員会便り
平成25年10月発行 第2号
編集担当：小島小・小河内小
穴原小・小島中

《活動報告 その1》

6/15(土) ホタル鑑賞会参加 in 西里森林公園

6月に両河内の西里にある森林公園でホタルの鑑賞会が開催されました。そして、12ブロックの母親委員会のメンバーも鑑賞会に参加しました。

まず初めに、ホタルが成虫になるまでのスライドショーを見せていただきました。卵や幼虫の時代にも発光すること、幼虫はカワニナという淡水性貝類を捕食することなど、ホタルの生態の説明を受けました。

その後、小雨がぱらつき始めたましたが、公園内を散策し、神秘的なホタルの光を見ることができました！

(残念ながら数匹しか飛びませんでしたでしたが、一緒に参加した子ども達は大喜びでした！)

あの時出会ったホタルは次の世代に命をバトンタッチし、今も清流の中で小さな幼虫が育まれています。

みなさんも来年の6月、ホタルの光の感動をお子さんと一緒に味わってみては？



《活動報告 その2》

7/13(土) 市P連10周年記念事業参加 in あざれあ

静岡市立PTA連絡協議会(市P連)の10周年記念式典が、今夏、開催されました。そして、その記念事業として、桑山紀彦さんの『地球のステージ』という講演会が催されました。

『地球のステージ』は、世界各地の様子や東日本大震災の時の様子が、音楽と映像や写真を用いて講演されます。

沢山の映像や写真の中には、雄大な自然、そして様々な環境の中で生活している人達の姿がありました。桑山さんのこの活動を始めるきっかけとなった1枚の写真、自分自身の学生時代の事や震災後の活動などについて、色々な話を聞く事が出来ました。目をおおいたくなるような映像もあり、涙が出たり、心が痛む場面もありました。

しかし講演の後には、自分達のいる環境の中で力強く生きている人達からパワーをもらうことが出来たような気持ちになりました。

是非、たくさんの人達に見ていただけたら、と思う講演でした。



9/20(金) 小島地区合同音楽鑑賞会参観 in 小島小

小島小、小河内小、宍原小と小島幼稚園の合同音楽鑑賞会が行われました。

吹奏楽団「アンサンブルムーン」の精鋭7名による演奏は、クラシック・ジャズに始まり、TVドラマ主題歌やディズニーまで大変バラエティーに富んだものでした。

自然に手拍子が起こり、中には体でリズムをとる子もいて、子供達はもちろん、私達大人まで盛り上がったとても楽しい鑑賞会でした。

たった7名による演奏とは思えないほど迫力のあるその音に、心から感動しました。



感動にひたる12ブロックの母親委員達。小島小学校の校門脇の市指定天然記念物、樹齢300年の「ちりめんかえで」の前で。



小島って???

小島(おじま)って、雄島!?(地名のゆかり)

明治二十二年に、小島、但沼、立花、小河内、宍原の各村が合併したとき、もっとも大きい村で江戸時代に陣屋があった“小島”の名を、新しい村につけました。

但沼には天武天皇の皇子舎人親王に関する伝説があり、立花は万葉集の防人の歌に出てくる“橘の美恵利の里”と言われていきますから、この地区にも、遠く奈良朝以前から人が住んでいたものでしょう。戦国時代になると、北條氏、武田氏、徳川氏などの勢力争いで、興津近辺が幾度か戦場となったため、甲州へ通ずる要路に当たる小島地区も人馬の往来が繁くなりました。続く江戸時代の宝永元年(1704年)、小島藩(領)一万石の大名松平信治は、小島の酒瓶神社西方に陣屋を構えました。その石垣は、今も残されています。

地名の小島は、奈良時代初期の風土記に「庵原郡雄島、公穀三百二十束…」と記されているように、昔“雄島”と書かれたものが、いつの間にか“小島”となったものです。また、この“島”は「川に囲まれた村落」の意味で、このほか、興津川流域の“島”の付いた字として、両河内地区の和田島、茂野島が挙げられます。

(「ふるさと物語」清水市より)